

第66回北海道歯科技工学会大会開催報告

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 村上 珠緒

2022年7月23日（土）に札幌市のホテルノースシティにおいて第66回北海道歯科技工学会大会が開催されました。

講演は、はじめに Dental Labor GmbH Gross の高瀬直先生に「バーチャル咬合器を使いこなすための3つの要点」との演題で、3Shape に搭載されているバーチャル咬合器を主題に「明日から使える咬合理論」をサブテーマとし、その使用方法並びに臨床応用をご紹介して頂きました。口腔内スキャナーを併用したフルデジタル技工においては、クラウン設計時に模型が存在しない場合が多く、顎運動再現の為にはバーチャル咬合器の活用が必須となり、明日からの臨床に応用可能なご講演をいただきました。

続いて、公益社団法人日本歯科技工士会日技認定講師である片岡均先生に「歯科技工業界の展望とデジタル技工の近未来~温故知新の心を忘れずに!~」との演題で、歯科技工士が学術的な知識と技術を深め、「物事の本質」をしっかりととらえる重要性をお話していただき、今後の歯科技工業界の在り方を改めて考えることができる大変貴重なご講演をいただきました。

会員研究発表においては、札幌歯科技工士会所属の大江利和氏に「正中を再現するためのミッドラインマーカ어의応用」という演題で顔面正中を咬合器上の模型に再現する方法を発表頂きました。続いて札幌歯科技工士会所属の小林裕矢氏に「ノンクラスプデンチャーについて」という演題で片側のノンメタルクラスプデンチャーの設計のポイントや、樹脂の種類、症例などをお話していただきました。

今回の学術大会は、新型コロナウイルスの終息がまだ見えない中での開催のため、感染対策を行いながら会場を設けての実施と共に、ウェビナーチームと連携してオンラインでも配信するハイブリッド形式での開催となりました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

